

杉戸町農のサポーター育成塾

第6回目 令和3年9月11日(土)



畑周りの雑草が伸びてきたのでまずは、草刈りから！



農業をするにあたっては、草刈りは必要不可欠です。



次にミニトマト、ピーマンの収穫が完了したので撤去を行います。



支柱を引き抜くのも一苦労です。



夏野菜が終わったら、次は冬野菜のサニーレタス、白菜を定植します。



マルチは環境に配慮し夏野菜の時に使用したものを継続して使っています。



無事に白菜の定植をすることができました。



こちらはサニーレタスです。



冬野菜の代表である大根の種まきも行います。今回は2種類の品種に挑戦！



肥料をまいた後にトラクターで耕します。



次は畝づくり。種まきをするまでの下準備が大変です。



種を埋める深さを空き瓶を利用して調整します。



種は、空き瓶3～4個ほどの間隔を空けてまきます。



地道な作業ですが下準備をしっかりとすることで美味しい野菜が出来ます。



今回植えた大根の1つ目は、青首大根！



2つ目の、たくわん大根の種まきです。



夏野菜のナスはまだまだ収穫できますので、これからの台風対策として支柱の補強を行います。



以前の講義で学んだ支柱の立て方のおさらいも含めて組み立てます。



最後に5月に定植したさつまいものツル返しを行います。



良いサツマイモを作るためには、ツル返しの作業が必要です。



サツマイモの生育状況を確認するために一部掘り起こしてみました。サツマイモが立派に成長していました。



収穫したサツマイモと塾生で記念撮影 第6回目お疲れさまでした！

農のサポーター育成塾とは、農家の担い手不足に対応するため、農業の応援団として生産現場で農家の農作業を手伝う援農ボランティアを育成する新たな事業です。